

大協製作所（栗原社長）

時間	質問	答え
0 : 03	<p>障害者同士が仕事を教え合う仕組みをどのようにして作られているのですか？</p>	<p>一般的な単純作業（物をかけたりはずしたりするような作業）というのは、最初に入ってきた障害のある社員の場合、健常者に比べて身構えてしまうんですね。なんとなく緊張してしまうわけですね。普段のなかなか実力が出せない。そういうことを省くためには仲間のような人が一緒に教えれば早いじゃないか、スムーズに入れるだろうと、これは実習のときからも含めましてね。それが比較的良くなってきた、うまくいったということだと思いますね。新しく入ってきた人、実習できた人が違和感なく緊張しないで仕事に取り組めるということが、これがやっぱり最大のメリットだという感じがしますね。</p> <p>それとやはりマンツーマンで教える部分もあるわけですよ。大和田さんのようにそういう仕事ばかりではなくて「この方には違う仕事をさせよう」とか、あるいは「(適性のある仕事が)みんなと同じ仕事じゃないだろう」という仕事はマンツーマンで教えるしかないですね。</p> <p>ただ、一般的に入ってきたばかりの人は仕事を覚える以前の問題ですから、まず仕事に慣れるというのが第一ですからね。それから、覚えるという段階をふみます。</p> <p>彼ら知的障害者が同じように障害を持った方を教えることが一番スムーズだと思うんですね。</p>
01 : 46	<p>生活相談員はどのような役割をしているのですか？</p>	<p>やはり、何かあった場合は話を聞いてあげる。また、ちょっとこの子様子がおかしいなと思ったら話しかけて、色々なコミュニケーションを取りながら状況を聞きだすというか、中には家族で夫婦ゲンカしたりとか家庭で何かあった何かあった時にそのまま会社に来ると調子が悪い人もいますからね。</p> <p>または、その人の周期があって、やっぱり体調が悪い時期もあるわけですよ。ですから、そういう場合は、家庭に報告し、場合によってお返し(帰宅)する。そういうことをやってもらうことが一般的な仕事です。</p> <p>最近はやはり安全面だとか、仕事に対して教えるというのが先ほど言ったように障害者が障害者を教えるようになりましたから、そういう仕事(安全面の管理等)が抜けちゃっているので、全体を管理する部分や、彼らとのコミュニケーションもね、「何か問題があれば話をする」というのが現場での中心になります。</p>

大協製作所（栗原社長）

<p>03 : 06</p>	<p>障害者を雇用する上で配慮している点は何ですか？</p>	<p>それはやっぱり安全面だと思いますね。お陰様で労災事故はほとんど無いからです。</p> <p>また、ほとんどが今自動機で仕事をやっています。自動機というのは、機械が皆自動で動いてくれますので作業をする人は入口と出口だけでいい、と。昔は機械の中まで入るような仕事もあったのですが、そういう仕事ですと、どうしても危険が伴いますので、そういう仕事は一切やらないと。入口と出口でもって「(部品を)かけたり、はずしたり」反復と言いますか、そういう作業を中心にすることがひとつ。</p> <p>それと、なるべく“物”を軽量化するような、小口化するようなやり方だとか、人がなるべく(物を)運ばないようにして、入口まではフォークリフトで品物を持っていったりとか、作業をする場所付近まで。</p> <p>そういうようなことでなるべく仕事に対してあまり負担がかからないように(しています)。</p>
<p>04 : 18</p>	<p>障害者雇用を考えている企業へアドバイスをお願いします。</p>	<p>まず、頭にピツとくるのが、「(障害者を雇用して)大丈夫だろうか」ということなんだよね。「仕事をやらせて危なくないだろうか」とか、「仕事は本当にできるのだろうか」とか、いろんな問題点が先に出てきちゃうんだよね。(いろんな思いが)錯綜してしまうと思うんだよね。だから、まずできれば実習でも何でも受けていただいて「なるほど、こういうような仕事も何とかできそうだ」とか、まずそういう体験をしていただくことです。</p> <p>それと同時に、(障害者を)雇用するのであれば、なるべく複数の方を雇用していただきたい。「最初はまず一人から」というのは、なかなか定着が難しいんですよ、コミュニケーション取れないですから。</p> <p>複数いると、お互いに仲間同士で話ができると。昼休みも一緒に食事してゆっくり話しながら休めると。周りが健常者ばかりで一人だけポツンと浮いちゃって辞めてしまうケースも聞いていますので。</p> <p>ですからなるべくならば複数の方を雇用してもらって、まあその前にまず実習をしてもらって、その方が自分の会社に向くか向かないかを試してもらって、食わず嫌いではなくまず食べてみるということをやっていたらと思います。</p>

大協製作所（栗原社長）

05 : 53	今後についてお聞かせください。	<p>今月 4 月 1 日に 1 名雇用しまして、なるべくであればですね、今現業で派遣の人ですとか何名か入ってますができればそういう方（障害者）に変えていきたいですし、最近（障害者を）雇用する企業も増えたせいか、なかなか前ほど実習を通じてうちのほうへ来なくなったもので、なかなかその辺は難しい部分もありますが、出来ればもう少しあと 3、4 名は今の状況であれば新規に雇用したい。それだけの仕事がありますので。</p> <p>それで今の作業の中で、もう少し彼らの定着する場所を見つけていきたいと思っています。</p>
---------	-----------------	---